

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	済生会なでしこ園		公表日	2026年2月16日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を動かすホールなどは人数制限をしている。</li> <li>・プレイエリアは、子どもたちの数に適した広さにしている。</li> <li>・保育室以外の部屋が利用できることで安心できる環境が作りやすい。</li> <li>・一部のスペースとしては十分にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペースは確保されていると思うが、よりランチルームが給食室の横にあったり、こあら・カンガルーの部屋などがあると、より充実すると思う。</li> </ul>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所と比べてみて妥当な配置であると思う。</li> <li>・保育所等訪問支援、地域連携のための業務、研修などに出るため、安全な配置になるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルプがないと回らない事がある。</li> <li>・経験の少ない支援者が多くなると、クラスによっては人数の調整が必要なのではと思う。</li> <li>・しっかりした支援をし過ぎているのか、職員の業務内容が多すぎて、職員が足りてない。</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの視線に入りやすい高さにスケジュールなど掲示されている。</li> <li>・こどもの障害特性に合わせた物理的構造化を行っており、どの子にとっても過ごしやすい空間を目指している。</li> <li>・仕切りを使うことで、何をやる場所なのか分かりやすくなっている。</li> <li>・こどもの生活や遊びの場としてごもらしい日常になるよう心がけている。過剰な配慮にならないように生活年齢や発達年齢を意識している。</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の清掃、定期的確認をしている。外部からの見学も多く、外から見た印象を意識している。</li> <li>・活動に応じて部屋を変えるなどして、子どもたちにとって分かりやすくなるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専用のランチルームがあると給食の準備がスムーズに行きやすいと思う。</li> <li>・掃除が行き届かない。遊具も壊れたものが多い。</li> <li>・もう少し清潔な空間と、清潔に関するこどもへの支援が必要だと感じる。</li> </ul>
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども自身の意向や、ことばにならない思いを汲み取るようにしている。</li> <li>・気持ちが崩れた時等に個別に対応できるスペースが確保されている。</li> <li>・こどもが選択できるよう、本人にとって心地よい環境、安心できる環境の中で経験を重ねている。</li> </ul>	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な振り返りと見直し、必要に応じて見直している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆意識はしているがなかなか難しい。</li> <li>・うまく時間が作れてないこともある。</li> <li>・業務に追われてきていないと感じることもある。</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のご意見は非常に参考になります。</li> <li>・日常的に保護者と直接お話する機会を作るようにしている。</li> </ul>	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を把握する機会を設け、業務改善を重ねている。突発的な業務や状況に応じた対応がもめられ、時期によっては業務内容や量が変動する。なるべく、協力していくよう心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー・サブリーダーでの会議や工夫はあるが、それを後輩職員に伝えたりするのにズレがあることもあるのではと思う。</li> <li>・相談に対しての話し合いは行われている。業務改善として方法を変え取り組んでいるが、現場ではない職員への負担は増していると思うので、全体の業務改善につながっているのかは分からない。</li> </ul>
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	16	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価を受けるにあたり、これまでのなでしこ園での取組みを全員で振り返った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの機会や改めて得た客観的視点を今後活かしていく。</li> </ul>

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ沢山の研修受講をしている。また園内研修は、職員全員が講師側の経験もできるよう、それぞれの職種や専門性をもとに行っている。</li> <li>・期的に内部、外部の研修に参加でき、新たな知識や考えを得ることができている。</li> <li>・経験年数、立場に応じた研修の機会がある。</li> </ul>	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念や支援方針が伝わるよう作成されている。</li> </ul>	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状確認シートや氷山モデルなど、様々なアセスメントのツールを使い、意向や課題を分析している。</li> <li>・支援計画会議を行うことで、より子どもや保護者の願いを尊重した計画の作成ができています。</li> </ul>	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画会議を行い、アドボケートを配置している。</li> <li>・子どもの思い、多職種の支援、家族の視点を共有している。</li> </ul>	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の支援目標を計画に基づき立てている。</li> </ul>	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォーマルアセスメントの視点は常に持ち、日々の情報共有、定期で実施するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーマルアセスメントは必要に応じて実施するようにしているが、定期での設定が難しい時期がある。</li> <li>・うまく活用できていないと感じることもある。</li> <li>・アセスメントを取りながら子どもの適応行動を知り、支援を検討していきたいが、実際に子どもたちを見守りながらアセスメントをするほどの余裕がないことが多い。</li> </ul>
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容は各担当が決めており、それに合わせて各チームで配置などの検討を行っている。</li> </ul>
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容は各担当が決めており、それに合わせて各チームで配置などの検討を行っている。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手なことも経験できるよう、興味の幅が広がるよう工夫されている。</li> <li>・同じくプログラムでも内容を担任間で出し合い、子どもの現状にあった内容を取り入れるようにしている。</li> <li>・振り返りを行いながら、季節に合わせた活動や、個々の課題に沿った活動を入れるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続して同じ活動を行うこともあるが、工夫をしたり変化をつけることで参加や興味の広がりを目指す意識をしなければと思うし、そういったねらいを共有しなければと思う。</li> </ul>
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備の時間などを使いながら打ち合わせをしている。</li> <li>・毎朝、その日をどのように過ごす子どもたちが楽しめるかを、クラスの支援者で検討し、工夫を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせなどはするが、人手不足もあり誰かに合わせた支援になりがち。チームで連携という点には疑問も残る。</li> </ul>
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず時間を取るわけではないが、クラス間でそれぞれに気づいたことは共有はしているが、振り返りという時間は設けられないので、細かく共有することは出来ない。</li> </ul>
適切な支援の提供						

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたよりの中のケース欄に書いている。</li> <li>・各担当ごとに行っている。気づいたことは担当へ伝えるように心がけている。</li> <li>・こどもたちの様子を記録に残し、次回どのように改善すべきかを検討している。</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一歳半健診後のフォロー、その他の相談など療育支援事業などで連携している。</li> </ul>	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問支援だけでなく、状況確認や報告など電話等で対応している。接点のある園への訪問を通して先生ガイドラインからの相談に対応している。</li> <li>・併行通園クラスは特になされていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか外部との関わりの機会を設けることが難しい。</li> </ul>
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移行時の情報共有、入学後の会議参加などに対応している。</li> <li>・児童状況書の作成、対面や電話での情報共有を行う。</li> <li>・移行についてはわからない部分が多いが、事前の共有はされていると認識している。</li> </ul>	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能強化事業、及び中核機能としてもこども部会区部会や研修会を開催している。</li> </ul>	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚統合が年に6回ほどある。専門的な話を聞くことができ、次の支援の材料となっている。</li> </ul>	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	16	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからないため「いいえ」を選択している。</li> </ul>
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	17	1		
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や面談の時間を設けて、担任だけでなく家族と一緒に現状を共有したり、電話やお便りなどで課題について検討していけるよう心掛けている。</li> <li>・特に特化している部分だと感じている。家族との情報共有を心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分時間を取れているか不安はある</li> </ul>
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	17	1		
34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明する機会がなかった。いま一度自分自身も把握する必要があると感じた。</li> </ul>	
35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18				
36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18				
37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段のご様子も見ながら、保護者の状態も気にかけている</li> </ul>		

保護者への説明等	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	18		・保護者については支援が来ていると思う。	・きょうだい同士は年齢が低いこともあり少ないと思う。きょうだい児も参加できる活動は難しいかもしれないが満足度向上にもつながると思う。 ・保護者同士はあるが、きょうだい同士は無いため、改善が必要。
	39	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18			
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	18			
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18			
	42	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18		・口頭だけでなく写真なども使いながら、支援者が伝えたいことだけでなく、本人が伝えたいことを知ることができるように工夫している。	
非常時等の対応	43	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18		・マニュアルの共有はしていないが、災害に備えた引き渡し訓練を定期的に行っている。	
	44	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18		・BCP発動訓練を行なっている	
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18			
	46	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18			
	47	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18			
	48	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18			
	49	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	17	1		
	50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18			
51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18				